

農業公園の6次産業化につながるビジネスモデル構築

会社名 株式会社農業公園信貴山のどか村
 所在地 奈良県生駒郡三郷町信貴南畑1丁目7番1号
 従業員 49名
 資本金 7,565万円
 売上高 2億円
 業種 農業公園に係る事業(農産物の生産・加工、
 バーベキューハウス・レストラン経営、クラススキー場・デイキャンプ場の経営等



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 2次加工品の開発・生産・販売、再構築されたビジネスモデルに基づいて6次産業化への取組み
- 農法について、技術・知財戦略策定や契約への手立てがなされており、かつ新規事業展開に係る組織ケイパビリティの拡充の方針も明確されているようにしたい。

支援を受けてできるようになったこと

After

- なら近大農法(ICT農法)を活用したメロン栽培に関しては、当園独自でメロンの栽培方法に関するノウハウ集積の効果もあり、収穫量が増加した。
- 6次化のビジネスモデルについても、来園者にその場で楽しんでもらうようなやり方の方が現実的であるとの認識に変わり、実際の取組みが始められている。

今後の事業展開の展望

Future

- なら近大農法(ICT農法)を使ったメロン栽培については、当園として栽培ノウハウが蓄積されつつあり、メロンの糖度のアップや収穫量の増加で成果が出つつあり、今後売上の増加が見込める。6次化に関しても、当園で採れた野菜や果樹を、来園者にその場で楽しんでもらうようなビジネスモデルが有効であることが確認できたことから、売上増が見込める。

重点支援を受けた事業や商材



当園で採れた野菜や果樹の販売・加工ではなく、調理したものをその場で楽しんでもらうビジネスモデルへ転換。

当園の「なら近大農法(ICT農法)」によるメロン栽培に関するノウハウは、オープンにせず、秘密情報として秘匿する方針とする。

魅力発信、提供価値を再認識したことで、社内の意識改革や理念の共有が必要となり、それらを推進することとなった。今後は具体的な活動計画(イベント等)に落とし込み、積極的に情報発信し、ビジネスモデルの転換やノウハウ提供の基盤を強化する。

【出典】株式会社農業公園信貴山のどか村
 ホームページ
<http://www.sigisan-nodokamura.com/>



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
新規事業展開について、ビジネスモデルの再整理	新規事業についての方向性は明確となっているが、ビジネスモデルが明確となっておらず、事業化に向けたロードマップも明確ではない。
ビジネスモデルに則した技術・知財戦略の策定	上記で再整理されたビジネスモデルを踏まえた、技術・知財戦略の策定する必要がある。
ビジネスモデルに則した契約及びノウハウ・営業秘密の取り扱いの考え方の策定	農法について、導入元となる大学や県の研究機関との契約関係や6次産業化に向けたビジネスパートナーとの契約に関する支援と共に、農法に関するノウハウ・営業秘密の取り扱いに関する支援が必要。
ビジネスモデルに則したブランド、販売・マーケティング戦略の策定	6次産業化に向けたブランド及び販売・マーケティング戦略を策定すると共に、支援先企業全体としての6次産業化への方向性と本事業の中での取り組みについて整合性をとる必要がある。
新事業展開に則した社内体制の整備、拡充	関連する技術・知財の取扱いなど、技術・知財戦略策定や契約への手立てが不十分。新規事業展開に係る組織ケイパビリティが不足。



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
新規事業展開について、ビジネスモデルの再整理	<ul style="list-style-type: none"> 当園で採れた野菜や果樹の販売・加工ではなく、調理したものをその場で楽しんでもらうビジネスモデルへ転換。 	中小企診断士、弁理士、ブランド専門家、料理研究家
ビジネスモデルに則した技術・知財戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> 当園の「なら近大農法」によるメロン栽培に関するノウハウは、オープンにせず、秘密情報として秘匿する方針とする。 	中小企診断士、弁理士
ビジネスモデルに則した契約及びノウハウ・営業秘密の取り扱いの考え方の策定	<ul style="list-style-type: none"> 当園がメロン栽培を実際に行う中で独自に蓄積してきた栽培に関するノウハウについては、外部提供する場合、契約によって管理することとした。 	中小企診断士、料理研究家
ビジネスモデルに則したブランド、販売・マーケティング戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> 魅力発信、提供価値を再認識したことで、社内の意識改革や理念の共有が必要となり、それらを推進することとなった。今後は具体的な活動計画(イベント等)に落とし込む。 	中小企診断士、ブランド専門家
新事業展開に則した社内体制の整備、拡充	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な情報発信体制の構築を進め、ビジネスモデルの転換やノウハウ提供の基盤を強化する。 	中小企診断士、ブランド専門家、料理研究家

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 東條 寮

活用専門家: 弁理士、ブランド専門家、料理研究家

知財総合支援窓口担当者: 奈良県知財総合支援窓口 瀬野 学

PO(プログラムオフィサー): 百瀬 隆